

A方式3期 解答

問1	ケ	問2	ア	問3	ウ	問4	エ
----	---	----	---	----	---	----	---

問5

核兵器の開発・保有の是非について、(a) 条約などの国際的な取極めを推進していくのがよいか、(b) 安全保障の問題として各国の判断にゆだねるのがよいかについて、どちらの立場に立つかを明示したうえで、【文章1】及び【文章2】の両方の内容を踏まえて、自分の意見を述べるができるかどうかを問う問題である。

(a) または (b) のどちらの立場に立つかを明示することが求められる。解答中に立場が明示されていないものは、問題文の指示に従っていないものであり、高い評価は得られない。【文章1】では、核拡散防止条約 (NPT) によって米・ロ・英・仏・中の5か国以外の国は核兵器を保有することが認められていないが、核拡散防止条約に加盟していないイスラエル、インド、パキスタンなども核兵器を保有していると推定されており、米国やフランスなどがこれらの国々の核保有を黙認していると述べられている。

【文章2】では、条約加盟国であるイランや条約から脱退した北朝鮮などの動向についても触れつつ、2大核大国である米国とロシアが核の威嚇を続けてきた状況が示されるとともに、核保有国や核の傘の下にある国々が核抑止論に頼り核への依存を正当化してきたと述べられている。

これらの【文章1】及び【文章2】の内容を的確にとらえ、自分の意見の根拠に関連づけることが必要である。問題文の指示に従わなければならないので、文章の内容とは無関係に自分の意見だけを書いた解答は評価されない。

そして、(a) または (b) どちらかの立場と合理的な関連性を有する論拠を、【文章1】及び【文章2】で示された内容に言及しつつ、自分の意見としてまとまった文章を書くことが必要である。

以 上